

2015-B

拠出金・基金の
名称

北太平洋海洋科学機関拠出金

種 別

イヤーマーク ノン・イヤーマーク

【拠出先の国際機関名】北太平洋海洋科学機関(PICES)

【所管官庁担当局課・室名】農林水産省 大臣官房 国際部 海外投資・協カグループ

【当該任意拠出金の目的・用途等】

- ・聞き取り調査・漁場環境調査を実施し、里海型漁業管理マニュアルを作成。
- ・ワークショップを開催し、マニュアルの普及、地元研究者への能力開発を実施。
- ・里海型漁業管理に関するデータベース、ネットワークを構築。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千カナダドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	7,445	75	—	1カナダドル=99円	100
平成26年度	7,854	84	—	1カナダドル=94円	100
平成25年度	10,793	130	—	1カナダドル=83円	100

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

生物多様性条約締結会議(COP10)が2010年名古屋で開催され、2020年までに海洋の10%を海洋保護区として保全することが求められており、海洋保護区のとらえ方については漁業活動の締出しの主張がある一方、人手をカナダえることで漁業資源の持続的利用と生物多様性の保全を両立した我が国の「里海型漁業管理システム」について、特に沿岸漁業が社会基盤となっている途上国が強い関心を示している。

PICESでは、2010年より里海型漁業管理に関する検討会を設置しており、PICESへの我が国の拠出金により、我が国の専門家を派遣し、日本主導のもと情報収集・交換等の体制作りとそのために必要な途上国研究者の能力開発の取組を支援することで、「里海」の概念を普及させ、途上国における漁業資源の持続的利用及び生物多様性の保全を実現することは意義が大きい。